

フロストリサイクル冷却
ビッグ&スリム60

日立冷蔵庫



(R-K42F型)

HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書別添付

日立冷凍冷蔵庫 **家庭用**

型式

アール ケー エフ
R-K42F

アール ケー エフエル
R-K42FL

このたびは日立冷凍冷蔵庫をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この冷凍冷蔵庫は家庭用です。業務用や食品収納以外の目的にはご使用にならないでください。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」 **→P.4~5** をお読みいただき、正しくお使いください。

日本国内家庭用
Use only in Japan



特長

1 もっと省エネ

冷却器に付着する霜（フロスト）を有効活用して庫内を冷やす[フロストリサイクル冷却]などのさまざまな省エネ技術により、消費電力量を低減。さらに節電したいときには、[節電]モードもご使用いただけます。

2 たっぶり収納するためのくふうがいっぱい ゆとりの収納力

真空断熱材で薄壁化するなど定格内容積にゆとりを持たせることはもちろん、棚やポケット、引き出しケースをできるだけ大きく広くして実際の食品の収納量を増やせるよう、構造もくふうしています。鍋ごと保存や大きな食材のまるごと収納、週末のまとめ買いなど、ゆとりの収納力を活かすことであなたの暮らしが変わります。

[トリプルパワー脱臭]

3種類の脱臭素材の組み合わせによって、硫黄系・チツ素系・アルデヒド系・酸系の4大臭気をふくむ庫内のさまざまなにおいを脱臭します。また、フィルターに捕集した細菌の活動を抑制します。

脱臭フィルターには、除菌効果があります。

●試験機関：一般財団法人 ボーケン品質評価機構 ●試験方法：フィルム密着法(JIS Z 2801) ●処理部品名：フィルター ●除菌の方法：酸化触媒をフィルターに塗布 ●対象：フィルターに捕集した細菌 ●試験の結果：24時間後に99%の除菌効果。フィルター単体での性能です。庫内全体や食品に効果が及ぶものではありません。

省エネのための上手な使いかた

1. ドアの開閉は少なく、手早く

開閉が多いと冷気が逃げてムダです。

2. 食品の詰め込みすぎは禁物

食品を詰め込みすぎると、冷気の流れが悪くなり庫内が均一に冷えないばかりでなく、余分な電気を消費します。適当に隙間をあけてください。

3. 熱いものはさましてから

熱いものを入れると、庫内温度が上昇し、周りの食品温度も上げてしまいます。

4. 冷蔵庫の周囲に適当な隙間をあけて

周囲に隙間がほとんど無い状態で設置すると、放熱ができず電気のムダになります。

5. 傷んだドアのパッキングは取り替えて

傷んでいる隙間から冷気が漏れて電気のムダ使いになります。名刺等をはさんでずり落ちるようでしたら、パッキングを取り替えてください。

よくあるお問い合わせ

氷ができないときは

→P.26



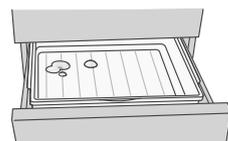
冷蔵庫が冷えないときは

→P.27



霜や露がつくときは

→P.27



音が気になるときは

→P.28



表示などが点滅しているときは

→P.28



もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意	4
確認する	6
各室のなまえと収納食品	6
付属品	6
操作パネルのはたらき	7
準備する	8
ご使用になる前の準備	8
移動・運搬の準備(引っ越しをする)	9

使いかた

冷蔵室	10
棚やポケットの高さをかえる	10
冷蔵室の温度を調節する	11
食品を急いで冷やす(急冷蔵)	11
氷温ルーム	11
製氷室(自動製氷機)	12
氷をつくる(製氷)	12
急いで氷をつくる(急速製氷)	13
氷をつくらない(製氷停止)	13
収納量・製氷時間	13
給水お知らせサイン	13
「製氷」表示が点滅しているとき	13
冷凍室	14
冷凍室上段を使う	14
冷凍室下段を使う	14
食品を収納するときのご注意	14
冷凍室の温度を調節する	15
食品を急いで凍らせる(急冷凍)	15
野菜室	16
上段ケース・下段ケースを使う	16
いろいろな機能	17
節電モードの設定	17
eco運転サイン	17
ドア開閉サイン	17
操作部ロック	18
ドアアラーム	18
ドアアラームと操作音の音量調整	18
温度微調節(冷蔵室・冷凍室)	19
冷凍室上段の温度調節方法	19

お手入れ

お手入れ	20
電源プラグ/冷蔵庫背面・床/ドア表面	20
各棚・ポケット/ドアパッキング/汁受け部	20
製氷おそうじ	21
給水タンク	22
製氷皿	23
部品のはずしかた・取り付けかた	24
高さかわるん棚上段・中段	24
ドアポケット	24
固定棚	24
高さかわるん棚下段	24
氷温ルーム	24
製氷ケース(製氷室)・上段フリーザーケース(冷凍室上段)	25
薄物ケース・小物ケース・大物ケース(冷凍室下段)	25
上段ケース・下段ケース(野菜室)	25
引き出しドアのはずしかた・取り付けかた	25

お困りのときは・アフターサービス

お困りのときは	26
使いはじめ	26
操作部	26
自動製氷がうまくいかない	26
冷えない	27
霜や露がつく	27
冷え過ぎる	27
操作部の「  」表示などが点滅している	28
音が気になる	28
ドアの傾きが気になる	29
冷蔵庫が熱くなる	29
においが気になる	29
その他	29
仕様	30
消費電力量	30
冷凍室の性能	30
収納できる食品の重さ	30
別売部品	31
保証とアフターサービス	31
保証書(別添)	31
補修用性能部品の保有期間	31
修理を依頼されるときは(出張修理)	31
お客様ご相談窓口	32

ご使用の前に

使いかた

お手入れ

お困りのときは・アフターサービス

安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は、表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
 注意	「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例	
	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「指示」内容のものです。

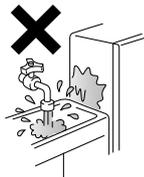
警告

火災や感電、けがなどを防ぐために

設置するとき



- 水のかかるところには設置しない。
(絶縁が悪くなり、漏電し感電の原因になります)



- 湿気の多い場所・水気のある場所に設置するときはアース(接地)・漏電遮断器を取り付ける。→P.9
(販売店にご相談ください)
- 地震に備えて転倒防止処置をする。→P.31
- 冷蔵庫の周囲はすき間をあけて据え付ける。→P.8
(冷媒が漏れると滞留し、発火・爆発の恐れがあります)

電源や電源プラグ・コードは



- 電源プラグを冷蔵庫の背面で押し付けない。
- 電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重い物を載せたり、はさみ込んだり、加工したりしない。
- ぬれた手で抜き差ししない。
- コードを持って抜かない。
- タコ足配線、延長コードは使用しない。
- コードや電源、プラグが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。



- 定格 15A 交流 100V のコンセントを単独で使う。
- コードを下向きに、電源プラグは根元まで確実に差し込む。
- お手入れの際は抜く。→P.20
- 長期間使用しないときは抜く。
- 定期的に電源プラグに付いたほこりを乾いた布でふく。→P.20



収納できないもの



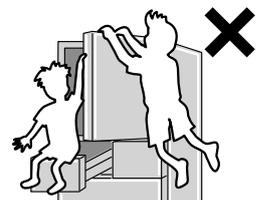
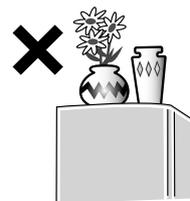
- 薬品や学術試料を入れない。(厳密な温度管理が必要なものは保存できません)
- 引火しやすいものを入れない。(引火・爆発する危険があります)



ふだん ご使用のとき



- 本体や庫内に水をかけない。
- 冷蔵庫の上にも、特に水を入れた容器を置かない。
- 可燃性スプレーを近くで使わない。
- 自動製氷機の機械部には手を入れない。
- ドアやドアの内側の部品、庫内の部品にはぶら下がらない、乗らない。
- 庫内では電気製品を使用しない。
- 分解・修理・改造は絶対にしない。
- 本体にネジ等の鋭利なもので傷をつけない。
(冷媒が漏れると発火・爆発の原因になります)
- ドアを大きく開けすぎたり、開いたドアに寄りかかるなどして無理な力を加えない。





警告

火災や感電、けがなどを防ぐために

もしものとき



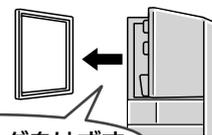
- 異常や故障のときは、電源プラグを抜き運転を中止して、すぐに販売店へ点検・修理を依頼してください。
《異常・故障の例》
 - ・電源コード、プラグが異常に熱い
 - ・電源コードに深い傷や変形がある
 - ・焦げくさいにおいがする
 - ・ピリピリと電気を感じる
- 可燃性ガスが漏れているときは、冷蔵庫やコンセントに触れず窓を開け換気する。
- 冷却回路(側面や天面)を傷つけたときは換気して電気製品の使用を避け販売店に相談する。



廃棄するとき



- リサイクルや保管時の幼児閉じ込みが懸念される場合は、ドアパッキングをはずす。
- 廃棄するときは、販売店や市町村に引き渡す。
(放置して冷媒が漏れると、引火・爆発の恐れがあります)



ドアパッキングをはずす



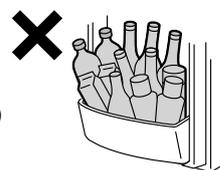
注意

けがや事故などの恐れ

食品を収納するとき



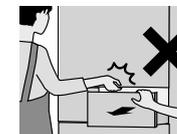
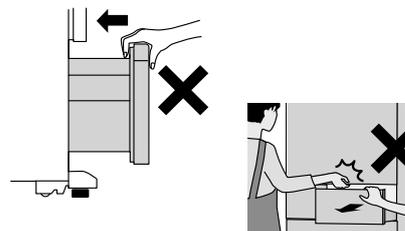
- ドアポケットの底面まで入らないボトル類は入れない。(無理に入れない)
- 食品は棚より前に出さない。
- におったり変色した食品は食べない。(腐敗により病気の原因になることがあります)
- 冷凍室にビン類を入れない。
- 冷凍室の食品や容器(特に金属製)をぬれた手で触らない。



ドアを開け閉めするとき



- 冷蔵室ドアの取っ手に手をかけたまま引き出しドアを開閉しない。
- ドアはハンドル以外を持って閉めない。
- 最下段の引き出しドアに足を近づけすぎない。
- ほかの人が触っているときは開閉しない。
- ドアを開放したまま、そこに隣接する他のドアを開閉する場合には、開いたドアとの間で手や指をはさまないように十分注意してください。
- ドアを強く開け閉めしない。(食品が落下するおそれがあります)



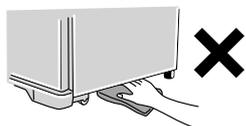
- 長時間ドアにすき間ができたままになっていると、床に結露水や霜取りの水が滴下することがあります。ドアはすき間ができないように確実に閉めてください。
- ドア開閉時の異音や摩耗粉などの異常に気づいた場合は、使用をやめて点検を依頼してください。



お手入れのとき



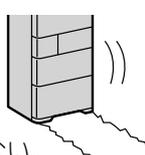
- 冷蔵庫底面に手や足を入れない。



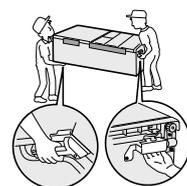
移動・運搬・設置のとき



- 横積み輸送はしない。
- 取っ手をクレーン等で吊らない。
- ドアの取っ手を運搬時に使用しない。
- 傷つきやすい床の上では冷蔵庫下部のキャスター(車輪)を使わない。床に傷をつける原因になります。移動するときは保護用の板などを敷いてください。
- 冷蔵庫背面・側面などぶついたりしない。



- 食品や氷を取り出し、給水タンクの水をすてる。
- 床材を傷つけたり、冷蔵庫内部に残っている水がこぼれたりすることを防ぐ保護用のシート・布などを敷く。
- ドアが開かないようテープなどで固定する。また、電源プラグ・コードは、たれ下がらないようにテープで固定する。
- 運搬用取っ手を持って2人以上で運ぶ。
- 床が丈夫で水平なところに調節脚でしっかり固定する。



確認する

各室のなまえと収納食品

冷蔵室 → P.10

約2℃～6℃

冷蔵食品



サラダ 乳酸菌飲料 プリン ヨーグルト とうふ



鍋



ケーキ



生卵



ドレッシング
マヨネーズ



ビール



牛乳



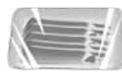
お茶

ドアポケットは少し温度が高めになります。

氷温ルーム → P.11

約-3℃～0℃

肉・魚介類など生鮮食品



肉



魚介類



サラダ



かまぼこ



ウィンナー
ソーセージ



カットした
リンゴ



チーズ



ちくわ



バター



製氷室 → P.12

約-20℃～-18℃

自動製氷機で
つくった氷

野菜室 → P.16

約3℃～7℃

野菜・果物・飲料



トマト しいたけ ブロccoli ホウレンソウ



ピーマン



リンゴ



お茶



ミネラル
ウォーター



レタス



キャバツ



イチゴ

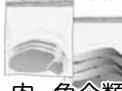


ペットボトル

冷凍室上段・下段 → P.14

約-20℃～-18℃

冷凍食品・アイスクリーム・乾物



肉・魚介類



アイスクリーム



密閉容器



食パン



ご飯



うどん



コーヒー



お茶

冷凍食品

冷凍室上段はつまみでの温度調節ができます。

→ P.15

※温度は冷蔵庫の周囲温度約30℃、冷蔵室、冷凍室ともに「中」設定で食品を入れずにドアを閉め、温度が安定したときの目安温度です。

お願い

- 食品はすき間をあけて収納してください。
- においの強い食品はラップをすることをおすすめします。
- 収納できる食品の重さの目安があります。→ P.30

付属品

保証書

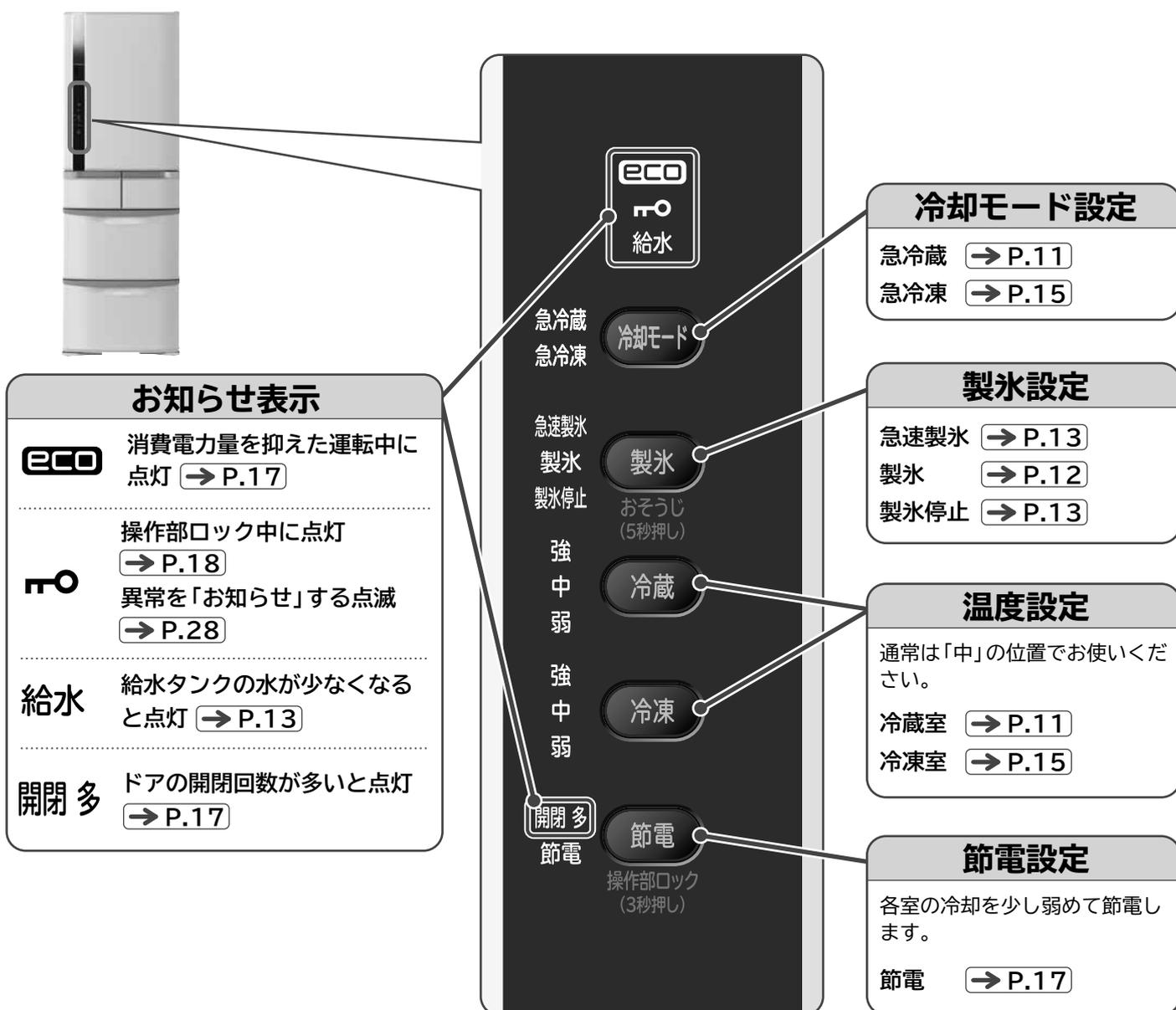
修理の際にご提示ください。

操作パネルのはたらき

ボタンを押して設定を切り替えてお使いください。

お知らせ

- 操作終了後、約40秒後に、節電のため表示部が消灯します。ただし、「節電」モードの設定と「急冷凍」「急冷蔵」「急速製氷」運転中の表示および「製氷停止」[給水お知らせサイン]、エコ運転中の[eco運転サイン][ドア開閉サイン]は消灯しません。
- 設定の確認は冷蔵室ドアを開けるか、いずれかのボタンを押してください。表示が再点灯します。
- 冷蔵室ドアを開けると操作部の表示が点灯します。この場合は閉めてから約15秒後に消灯します。
- 設定はすべてのドアを閉じた状態で操作を行ってください。冷蔵室ドアを開放中または表示部点滅中はボタンを押しても反応しません。
- ドアの開放状態が1分以上になると、ドアアラームでドアが開いていることをお知らせします。



※説明のため、すべての表示を点灯状態にしています。

準備する

ご使用になる前の準備

1

次のような場所に設置する

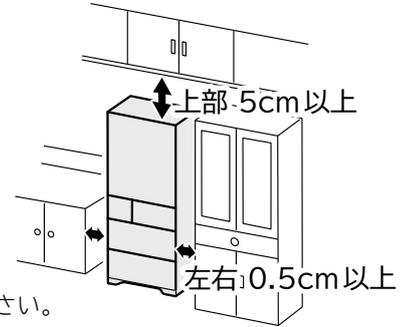
- 床が丈夫で、水平なところ
じゅうたん、畳、フローリング、塩化ビニールなどの床で変形、変色の恐れがある場合は板(1cm厚以上)を敷いてください。
- 熱気・直射日光が当たらないところ
- 湿気が少なく、風通しの良いところ
冷却力の低下や、電気代の増加をおさえます。また、変色やさびをおさえます。
- ほかの機器からはなれたところ
テレビなどへの雑音や映像の乱れを防止します。

※放熱スペースをあけてください。

※本体側面中央部は表示寸法より若干大きめになる場合があります。
余裕を持って設置してください。

※背面は壁に付けられます。

振動音がする場合、または壁の変色や汚れが気になる場合は、すき間をあけてください。

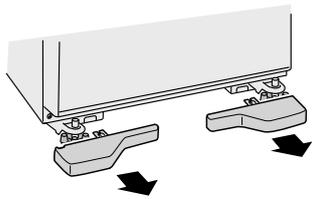


2

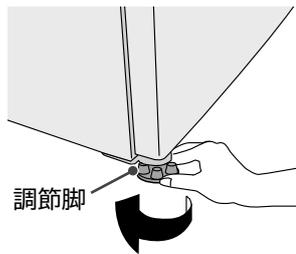
冷蔵庫を固定する

冷蔵庫前面下側の調節脚を回して固定します。

1 脚カバーの両端を持って、手前に強く引いてはまず



2 調節脚を回して下げ、冷蔵庫を固定する(左右2か所)

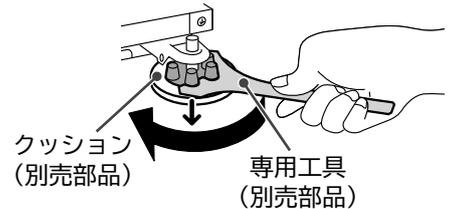


お知らせ

- 地震に備えて「冷蔵庫用地震転倒防止ベルト」(別売部品)を2個ご使用になり、丈夫な壁や柱に固定していただくことをおすすめします。→ P.31
- 専用工具およびクッションは、別売部品:「調整キット」(商品番号 R-A6200 650)にてお買い求めできます。→ P.31

〈専用工具を使用する場合〉

- クッションを調節脚の下に入れてください。(調節脚に対して前後左右均等になるように入れてください)
- 専用工具は調節脚の形状に合わせてはさみこんでください。



- クッションを入れる前に、調節脚と床面をきれいに拭いてください。汚れがついていると、床面に傷がつく場合があります。
- 調節脚を回す際に、専用工具で床面を傷つけないようご注意ください。

3

ドアの平行調整をする

- 冷蔵庫の設置する場所が水平でなかったり、床材がやわらかくて、食品の重み加わり冷蔵庫の脚が沈んだりすることにより、冷蔵室のドアに傾きが生じる場合があります。

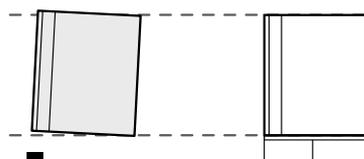
→機能上問題ありませんが、気になる場合は下記の手順でドアの平行調整を行ってください。

左右水平にし、冷蔵庫の前側をやや上げ気味に調整するとドアが閉まりやすくなり半ドアになりにくくなります。

1 調節脚を冷蔵室ドアが水平になるように回す

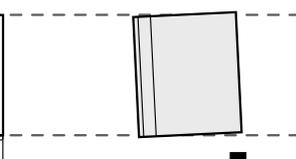
調節脚を回す量は、ドア段差1mmにつき1回転を目安にしてください。

■右側が下がっている



左の調節脚を時計回りに回して下げる

■左側が下がっている



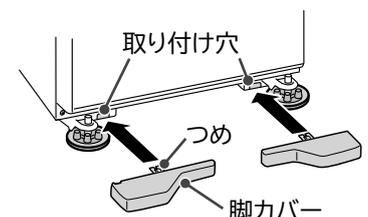
右の調節脚を時計回りに回して下げる

お知らせ

- 冷蔵室ドアを開いた状態で手をはなしたとき、ドアが動く場合がありますが、故障ではありません。
- 調節脚を回してもドアの平行が直らない場合は、別売部品「調整板」をお使いください。→ P.31

2 脚カバーのつめを冷蔵庫取り付け穴に差し込み、取り付ける

冷蔵庫本体が床になじみ、ドアが平行に直るまでに、5日程度かかる場合があります。時間が経っても直らない場合は再度調整してください。



電源プラグを差し込む

設置後、すぐに電源プラグを差し込んで問題ありません。
コンセントは単独で差し込んでください。(交流100V、定格15A以上)



- 電源プラグやコードが冷蔵庫背面と壁との間にはさまれていないか確認してください。コードの発熱を防ぎます。

庫内の冷却がはじまります

- 冷蔵庫の周囲の温度や、食品の収納状態によって庫内が十分に冷えるまでに**約4時間程度かかります**。

夏場など暑いときは、24時間以上かかることがあります。

アイスクリームや冷えていない食品、傷みやすい食品は庫内が十分冷えるまで入れないでください。

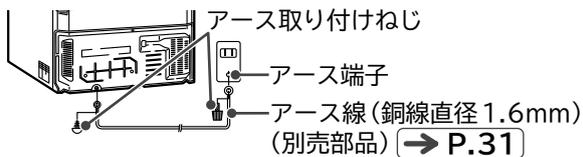
- はじめて自動製氷をお使いのときは、手順に従い自動製氷機の「製氷おそうじ」をしてください。→ P.21

- 自動的に行う一連の製氷動作は庫内が十分冷えてから開始します。

(使いはじめは、**最初の氷ができるまでに24時間以上**かかることもあります)

万一の感電防止のためにアースをおすすめします。→ P.31

- 湿気の多い場所・水気のある場所に設置するときはアース・漏電遮断器の取り付けを販売店にご相談ください。



アース線を接続してはならないところ

- 水道管 (感電の危険)
- ガス管 (爆発の危険)
- 電話線や避雷針のアース (落雷のとき危険)

お知らせ

- 温泉地域や工業地域周辺、下水配管の近くなどに冷蔵庫を据え付ける場合、硫化ガスの影響で配管が腐食することがあり、配管の防さび処理が必要となる場合があります。販売店にご相談ください。なお、配管が黒く変色する等、ガス害による故障は保証の対象外となります。

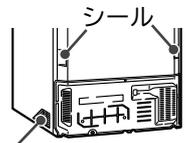
- 電源プラグを差し込んだ後、冷蔵庫を運転するための準備音がします。また、冷蔵庫が十分に冷えるまで、コンプレッサーやファンの音が大きく感じることがあります。

- 使いはじめにプラスチックからにおいがすることがあります。念のため、お部屋の風通しをよくしてください。においはしだいに消えます。

- 背面のシールをはがしたり、側面下部のプラスチックをはずさないでください。

- マグネットや吸盤を本体やドアの表面に付けた場合、跡が残る場合があります。

- 周囲の湿度が高いとき、ドア表面に紙などを貼ると、ドア表面に露がついたり、紙が吸湿する場合があります。プラスチック部品 (左右)



移動・運搬の準備 (引っ越しをする)

1 食品や氷を取り出す

2 給水タンク・製氷皿の水をすてる

3 電源プラグを抜く

移動直前でも問題ありません。

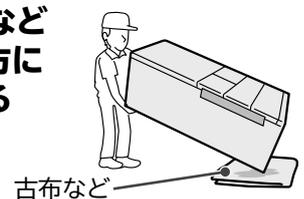
4 脚カバーをはずし、調節脚を上げる

5 ドア・電源コードをテープで固定する

6 移動・運搬時には保護用のシート・布などを敷く

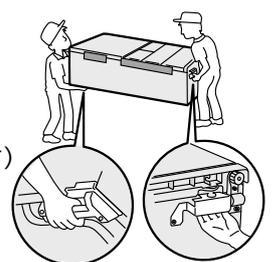
床材を傷つけたり、水がこぼれたりすることを防ぐためです。

7 保護用のシート・布などを置き、冷蔵庫を後方に倒して、水抜きをする



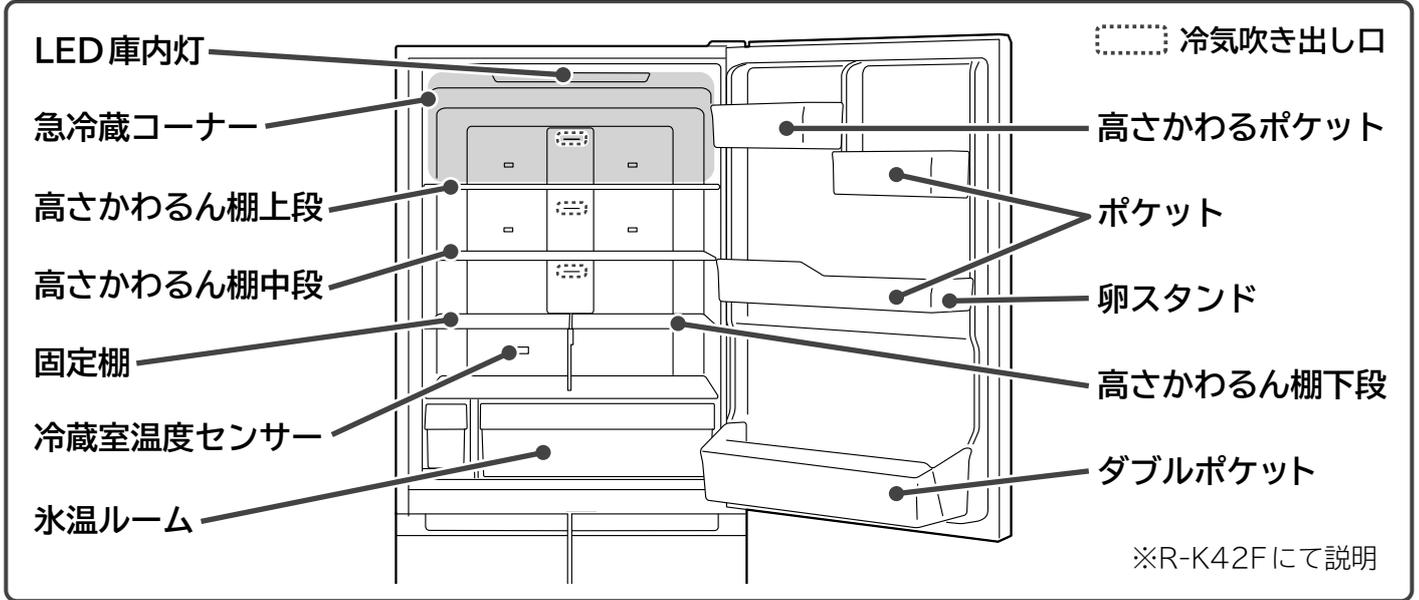
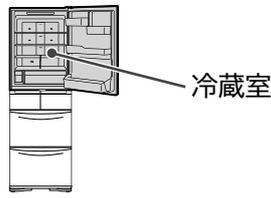
8 運搬用取っ手を持ち、2人以上で運ぶ

輸送のときは横積みしないでください。
(冷蔵庫の故障の原因となります)



9 「ご使用になる前の準備」にしたがって設置する → P.8

冷蔵室



お願い

- 冷気吹き出し口付近に缶飲料や水分が多い食品を置くと凍ったり破裂するおそれがありますので、棚の手前側かポケットに収納してください。
- 温かい食品は急冷蔵コーナーまたは高さかわるん棚に収納してください。温度センサーの近くに入れると冷蔵室温度が下がりすぎたり、冷蔵室奥のパネルに結露する場合があります。

ご注意

- パンを袋に入れたまま冷蔵室で保管すると、袋の中が結露し、パンが濡れる場合があります。
- ドアを大きく開けすぎたり、開いたドアに寄りかかるなどして無理な力を加えないでください。ドアが破損するおそれがあります。

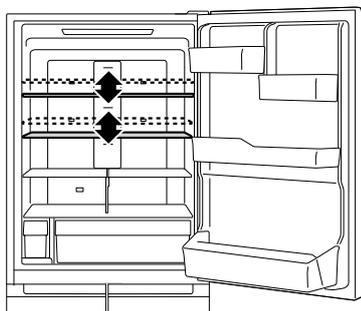
棚やポケットの高さをかえる

食品や飲料の大きさにあわせて棚やポケットの位置をかえることができます。

はずしかた・取り付けかた → P.24

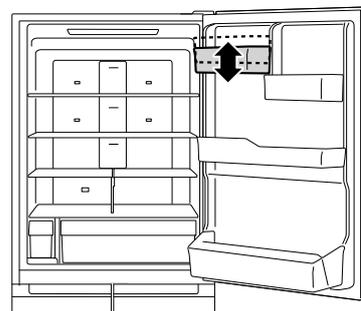
■高さかわるん棚(上段・中段)

食品や飲料の高さに応じて、調節できます。



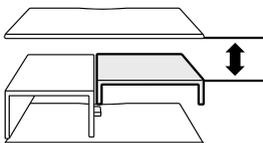
■高さかわるポケット

食品や飲料の高さに応じて、調節できます。

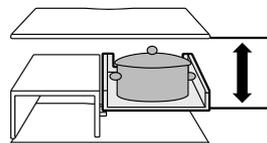


■高さかわるん棚下段 3段階に調節できます。

● 出荷時の状態

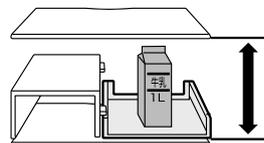


● なべの収納など



棚をひっくり返して
上段にセット

● 牛乳パックの収納など

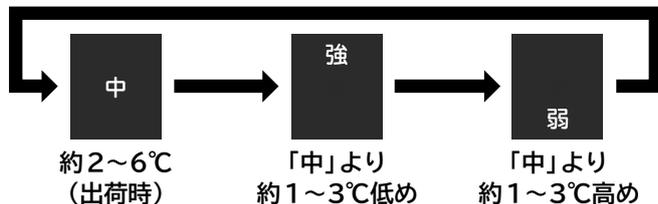


棚をひっくり返して
下段にセット

冷蔵室の温度を調節する

1 冷蔵 ボタンを押して好みの温度に変更する

押すごとに以下のように表示が順番に切り替わります。
出荷時は、「中」に設定されています。



※温度は冷蔵庫の周囲温度30℃、冷蔵室、冷凍室ともに「中」設定で、食品を入れずにドアを閉め、温度が安定したときの目安温度です。

お願い

- 通常は「中」の位置でお使いください。庫内の温度は使用条件により多少変動します。
- 温度をさらに細かく調節することもできます。→P.19
- 温度設定を「強」または「弱」にすると、氷温ルームの温度も多少変動します。
- ドアポケットは上記にある温度より少し高めになります。
- 夏場などに、冷えが悪いと思われたときは、「強」でお使いください。
- 冬場などに「強」で長時間ご使用になると、食品が凍ることがあります。冷えすぎると思われた時は、「中」または「弱」でご使用ください。

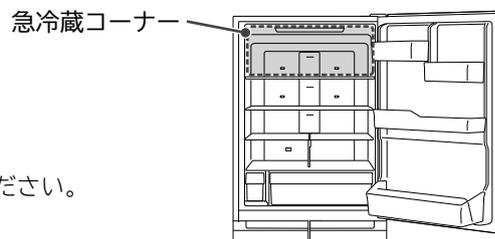
食品を急いで冷やす (急冷蔵)

1 急冷蔵コーナーに食品を置く

中央に置くとより速く冷えます。

ご注意

- 缶飲料や水分の多い食品は背面の冷気吹き出し口からはなして置いてください。凍結したり、破裂したりするおそれがあります。



2 冷却モード ボタンを押して「急冷蔵」を点灯させる

「急冷蔵」運転中は「急冷蔵」表示が点灯しつづけます。
また、[eco運転サイン]は点灯しません。

約50分で運転を自動終了し、「急冷蔵」表示が消灯します。

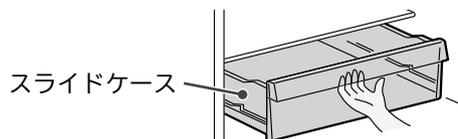


途中で解除 冷却モード ボタンを押して「急冷蔵」を消灯させる

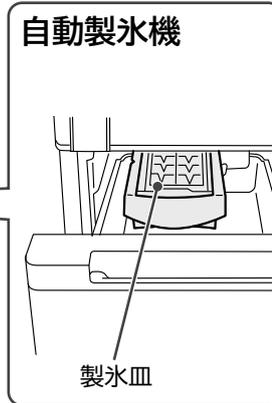
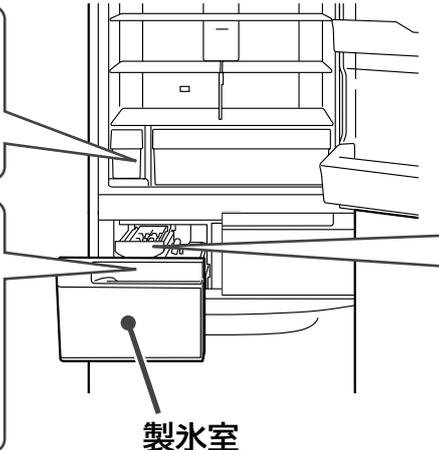
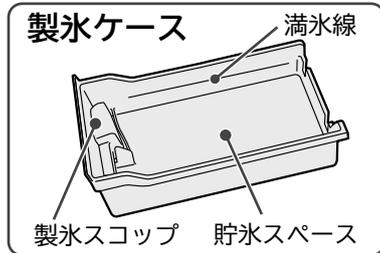
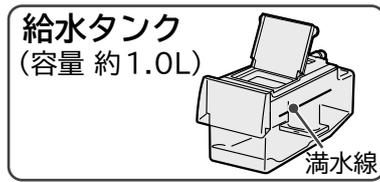
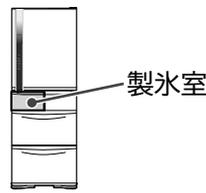


氷温ルーム

- 肉や魚介類などの食品を低温で保存することができます。



製氷室 (自動製氷機)



氷をつくる (製氷)

はじめて氷をつくる時や、1週間以上氷をつくらなかったときは、「製氷おそうじ」をしてください。→ P.21

1 **製氷** ボタンを押して「製氷」を点灯させる

2 **給水タンクを取り出す**
[給水お知らせサイン]が点灯するか、水が少なくなったら補給してください。

3 **給水カバーを開けて水を入れる**
「満水線」まで入れてください。
※「満水線」以上は水を入れないでください。

4 **給水タンクをもどす**
「タンクセット位置」の線を越えるまで奥にしっかりとまっすぐに押し込んでください。給水タンクをタンクセット位置より奥に押し込まないと、給水されません。
※給水タンクを傾けると水がこぼれることがあります。水がこぼれたときは、すぐにふき取ってください。

5 **自動で製氷運転が始まります**

- 製氷ケースに氷が保存されます。
- 1回の製氷で8個ずつ氷ができます。
- 満水線まで水がたまると、自動製氷機能が一時停止します。氷が少なくなると自動で再開します。
- 製氷ケース内に氷がない時は、製氷皿から氷が落ちる音が大きく聞こえる場合があります。

お知らせ

次のようなときは、氷ができるまで時間が長くなります。

- ・はじめてお使いのとき (24時間以上かかることがあります)
- ・「節電」モードに設定しているとき
- ・ドアの開け閉めが多いとき
- ・冷蔵庫に大量の食品を一度に入れたとき
- ・停電があったとき
- ・冬場など周りの温度が低いとき
- ・製氷皿のお手入れをしたあと
- ・冷凍室や製氷室が半ドアになっているとき
- ・冷凍室の温度設定が「弱」のとき

お願い

- 水道水での製氷をおすすめします。1週間に1回以上給水タンクを洗いしてください。→ P.22
- ミネラル成分の多い水でつくった氷を水に入れると、白い浮遊物(ミネラル成分)ができることがあります。害はありません。水道水以外は、雑菌が繁殖しやすくなるため、3日に1回以上の頻度を目安に給水タンクを洗ってください。
- 水以外のものを使用しないでください。故障や、変形、氷がつながるなどの原因になります。

○ ミネラルウォーター (硬度: 100mg/L以下) 浄水器の水 井戸水 (水質基準を満足するもの)

× ジュース類 スポーツドリンク 炭酸飲料 お茶

急いで氷をつくる (急速製氷)

氷をつくらない (製氷停止)

1 製氷 ボタンを押して「急速製氷」を点灯させる



「製氷」より、短い時間で氷ができます。
1回の製氷で8個ずつ氷ができます。

約7時間で「急速製氷」運転を自動終了し、「製氷」に切り替わります。

お知らせ 「急速製氷」運転中は「急速製氷」表示が点灯しつづけます。
また、「eco運転サイン」は点灯しません。

1 製氷 ボタンを押して「製氷停止」を点灯させる



自動製氷を停止し氷をつくりません。

※1週間以上「製氷停止」にする場合は自動製氷機のお手入れをしてください。→ P.21~23

お知らせ • 「製氷停止」設定中は「製氷停止」表示が点灯しつづけます。

収納量・製氷時間

型式		R-K42F・R-K42FL
氷の収納量	通常状態	約90個
	氷をならした状態	約130個
1回(8個)の製氷時間	通常の「製氷」	約110分~140分
	「急速製氷」	約80分

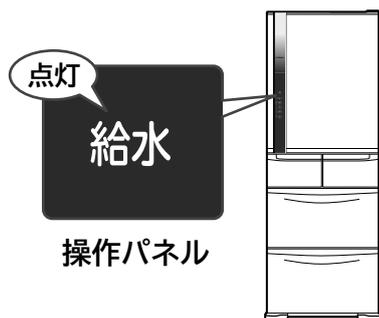
※周囲温度約30℃、各室温度設定「中」、ドア開閉なしのときの目安値です。

お知らせ • 満水線は、氷をたいらにならしたときの最大貯氷量の目安です。
氷が部分的にたまると、検知レバーが氷にあたり、貯氷量が少ない状態で製氷が停止することがあります。

お願い • 製氷室のドアは、ゆっくりと開閉してください。
勢いよく開閉しますと、製氷ケースから氷がこぼれ、冷凍室下段に落ちることがあります。

給水お知らせサイン

給水タンクの水が少なくなると、「給水お知らせサイン」が点灯します。給水タンクに水を補給してください。
[給水お知らせサイン]が点灯中は、「製氷」「急速製氷」が設定されていても氷はできません。



お知らせ

- [給水お知らせサイン]が点灯中に冷蔵室ドアを開閉すると、[給水お知らせサイン]は一度消灯します(最大3時間)が、水が補給されない場合は再び点灯します。
- 自動製氷機の設定が「製氷停止」のときは[給水お知らせサイン]は点灯しません。

ご注意

- 給水タンクに水があっても、給水タンクがしっかりと押し込まれていないと、[給水お知らせサイン]が点灯します。給水タンクをしっかりとまっすぐに押し込んでください。

「製氷」表示が点滅しているとき

製氷皿が製氷ケース内の食品にあたっている可能性があります。

一度製氷ケース内を空にして、「製氷おそうじ」をしてください。→ P.21

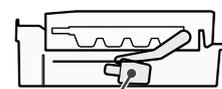


お願い

- 貯氷スペースには、自動製氷機でつくった氷以外の冷凍食品などを入れないでください。(氷ができなくなったり、製氷機の部品が食品にあたり、ドアが開かなくなったり、部品が破損することがあります)

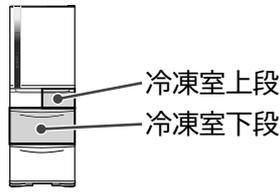


冷凍食品
冷凍食品が入って
いませんか？



製氷スコップ
製氷スコップは所定
の位置にありますか？

冷凍室

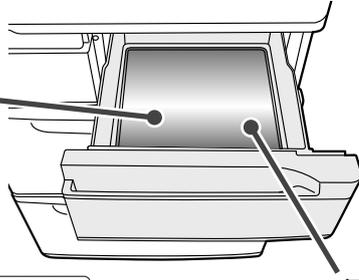


冷凍室上段を使う

食品を急いで凍らせる急冷凍機能があります。→ P.15

肉や魚を急いで冷凍するときにお使いください。

上段フリーザーケース
(アルミトレイ付き)



収納食品

上段フリーザーケース	フリージングパック、密閉容器など 小物冷凍食品 急冷凍スペース 肉や魚を急いで冷凍するとき
------------	--

● 冷凍室上段の温度調節方法 → P.19

急冷凍スペース

冷凍室下段を使う

3段ケースでたっぷり収納できて、スッキリ整理ができます。

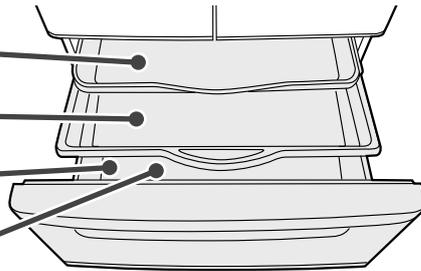
長く保存するものや、溶けやすいアイスクリームなどの収納に適しています。

薄物ケース

小物ケース

大物ケース

たて収納スペース



収納食品

薄物ケース	小物、冷凍食品など
小物ケース	フリージングパック、密閉容器など
大物ケース	冷凍食品、食パン、アイスクリームなど たて収納スペース 冷凍専用ペットボトルなど

● 冷凍室上段のアルミトレイを薄物ケース左側に移動すると、急冷凍スペースとして使用できます。

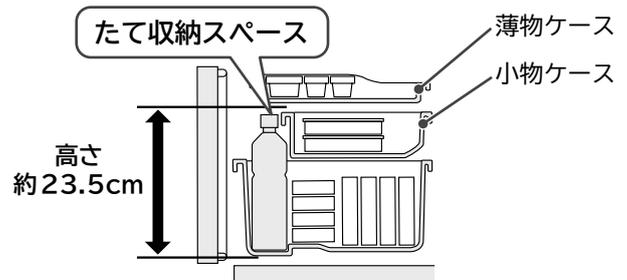
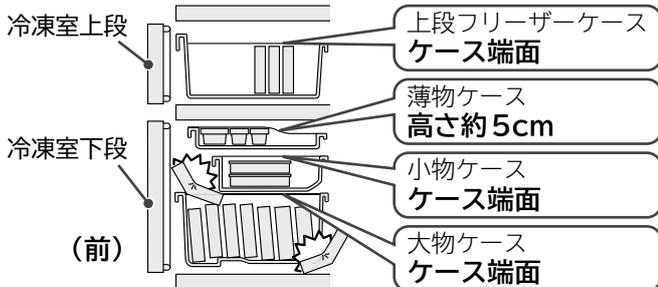
食品を収納するときのご注意

各ケースに収納する食品の高さに注意してください。

ドアが確実に閉まらなくなり、冷えが悪くなることがあります。また、食品や各ケースを破損することがあります。

上の薄物ケースや小物ケースの底面に食品が触れないようにしてください。

高さの目安



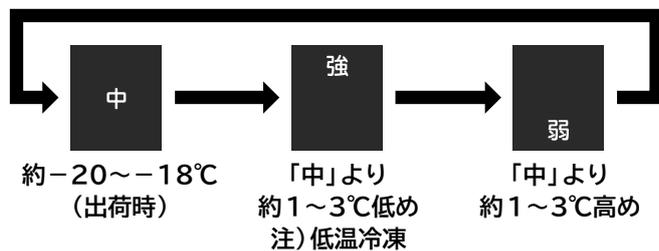
- 薄物ケースに500mLのペットボトルを入れないでください。ペットボトルが凍ると膨張して取り出せなくなります。
- 薄物ケースおよび小物ケースをはずしたまま使用しないでください。ケース奥側に食品が落ちて、ドアが閉まらなくなることがあります。

- たて収納スペースに背の高い食品を収納する場合は、薄物ケースや小物ケースにあたらないように注意してください。
- 冷凍対応ペットボトルなど、凍らせてもよい食品のみ収納してください。

冷凍室の温度を調節する

1 冷凍 ボタンを押してお好みの温度に変更する

押すごとに以下のように表示が順番に切り替わります。
出荷時は、「中」に設定しています。



※温度は冷蔵庫の周囲温度約30℃、冷蔵室、冷凍室ともに「中」設定で食品を入れずにドアを閉め、温度が安定したときの目安温度です。

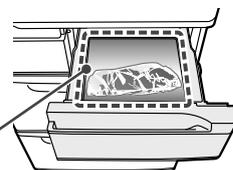
お知らせ

- 通常は「中」の位置でお使いください。温度は使用条件により多少変動します。
- 温度をさらに細かく調節することができます。→P.19
- 冷凍室「強」(低温冷凍)は「中」設定に比べ、消費電力量が約2割程度多くなります。
- 冷凍室「強」(低温冷凍)で長時間ご使用になると、アイスクリームなどが硬くなったり、保存していた食品の解凍時間が長くなったりします。
- 冷凍室の温度設定を変更すると、製氷室の温度も変わります。

食品を急いで凍らせる(急冷凍)

1 冷凍室上段のアルミトレイの上にラップをした食品を置く

食品は薄く小分けにすると、中心まで速く凍るだけでなく、取り出しやすく便利です。



お知らせ

- 冷凍室上段のアルミトレイを冷凍室下段の薄物ケース左側に移動すると急冷凍スペースとして使用できます。

2 冷却モード ボタンを押して「急冷凍」を点灯させる

「急冷凍」運転中は「急冷凍」表示が点灯しつづけます。
また、[eco運転サイン]は点灯しません。

約120分で運転を自動終了し、「急冷凍」表示が消灯します。



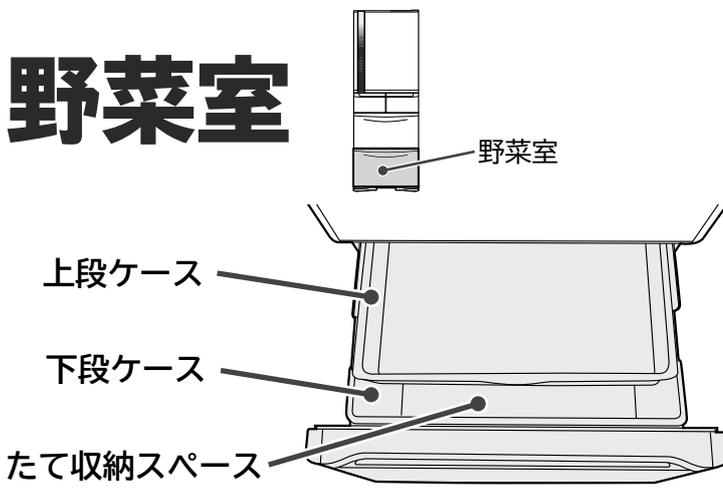
途中で解除 冷却モード ボタンを押して「急冷凍」を消灯させる



お知らせ

- 「急冷凍」運転時は冷凍室を優先して冷却しますので、特に冷蔵室のドア開閉が多いときなど冷蔵室の温度が上がりやすくなります。
- あたたかいごはんなどをそのまま冷凍することができます。熱い食品を入れる場合は、やけどをする可能性がありますので、ご注意ください。手で持てるぐらいの温度まで冷ましてから入れることをおすすめします。
- 「急冷凍」運転終了後の約60分間は、再度冷却モード ボタンを押しても、「急冷凍」表示は点灯しますが、「急冷凍」運転は行いません。約60分経過してから運転を行います。
- 食品がアルミトレイにはりつくことを防ぐため、必ずラップをしてください。

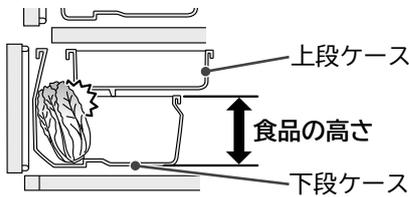
野菜室



上段ケース	使いかけの野菜やトマト、レモンなどの小物野菜
下段ケース	キャベツ、レタスなどの大物、中物野菜 たて収納スペース 2Lペットボトルも入ります

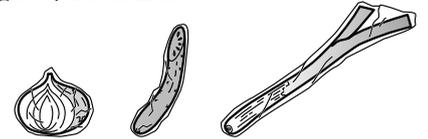
上段ケース・下段ケースを使う

冷気を直接野菜に当てずに、やさしくしっかり冷やします。野菜の乾燥を抑えます。



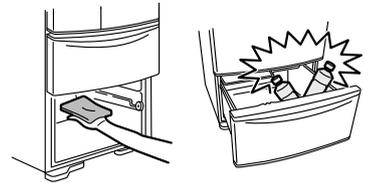
こんなときには野菜にラップを

- 長ねぎ、にら、わけぎなど、他の食品へのおい移りが気になるとき
- 使いかけの野菜や果物を保存するとき
- 野菜が少ないときや、包装された野菜が多いとき
- 野菜室内の結露が気になるとき



ご注意

- ケースより高く食品を積み上げないでください。
・ドアが完全に閉まらなくなり、冷えが悪くなる場合があります。 ・食品や各ケースを破損することがあります。
- 野菜室は湿度が高いため、野菜の量や種類によっては、上段ケースや野菜室天井に結露します。水がたまると食品が傷みやすくなるので、乾いた布でふき取ってください。
- ペットボトルの種類により、収納できない場合があります。また、ペットボトルのキャップを確実に閉めないで収納できない場合があります。
- 外気温が低いときは、ケース内の温度が低くなる場合があります。
- 野菜室のドアは、ゆっくりと開閉してください。勢いよく開閉しますと、たて収納スペースの食品（ペットボトルなど）が転倒することがあります。



いろいろな機能

節電モードの設定

節電モードに設定すると、次のような運転に切り替え、節電します。

節電モード

各室の温度を、冷却を弱める運転をして節電します。

冷蔵室ドアを30秒以上開放すると、冷蔵室のLED庫内灯の明るさを抑えて節電します。

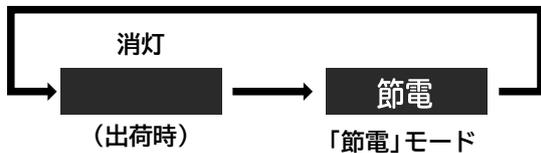
また、長い時間ドアの開閉がない場合は、庫内をゆっくり冷やすことで、さらに消費電力量を抑えます。

1

節電 ボタンを押してお好みの設定に変更する

押すごとに以下のように表示が順番に切り替わります。

出荷時は、節電モード「切」(消灯)に設定しています。



野菜室 / いろいろな機能

お知らせ

- 冷却を弱める運転をするため、アイスクリームなどがやわらかくなったり、冷凍食品に霜がつく場合があります。また、食品を冷凍させる場合の凍結時間や、製氷時間は通常より長くなります。
- 「節電」設定中は「節電」表示が点灯しつづけます。
- 「節電」設定中に「急速製氷」、「急冷凍」、「急冷蔵」を設定した場合には「節電」設定を一時解除します。「急速製氷」、「急冷凍」、「急冷蔵」運転が終了後、設定されていた「節電」に戻ります。
- 「冷凍室」「冷蔵室」の両方またはいずれかの設定温度を「弱」でお使いの場合は、「弱」設定の各室については食品の鮮度保持のため冷却を弱める運転は起こりません。

eco運転サイン

フロストリサイクル冷却時など、消費電力量を抑えて運転しているときに、[eco運転サイン] **eco** が自動で点灯して省エネ運転をお知らせします。ドアの開閉は少なく、手早くして、上手に使う参考にしてください。



eco運転サイン

お知らせ

[eco運転サイン]が点灯しない場合は、以下の理由が考えられます。

- ・ 設置直後や一度に多くの食品を収納したとき、ドアの開け閉めが多いとき
- ・ ドアの開け閉めが多いとき
- ・ ドアに食品や袋がはさまり半ドアになっているとき
- ・ 「急冷凍」「急冷蔵」「急速製氷」を設定しているとき
- ・ 冷蔵庫の周囲の温度が約35℃以上のとき

ドア開閉サイン

ドアの開閉回数が多い時に、[ドア開閉サイン] **開閉多** を自動で点灯してお知らせします。

ドアの開閉は少なく、手早くして、上手に使う参考にしてください。



ドア開閉サイン

お知らせ

- ・ [ドア開閉サイン]は点灯後、約5分後に自動で消灯します。
- ・ [ドア開閉サイン]が点灯しているときは、[eco運転サイン]は点灯しません。

いろいろな機能 ~つづき~

操作部ロック

操作を無効にすることで、誤操作や、小さなお子さまのいたずらを防止することができます。
Ⓜ○ (操作部ロック) 表示が点灯しているときはその他のボタンを押しても切り替わりません。

1

節電 ボタンを設定音が鳴るまで
3秒以上押しつづける



お知らせ

- 電源プラグを抜き差ししたり、停電復帰した後は操作部ロックが解除される場合があります。

操作部ロックが「入」または「切」に切り替わります。
出荷時は、操作部ロック「切」(Ⓜ○ 消灯) に設定しています。

操作部ロックの設定	「入」(ロック中)	「切」(ロック解除)
「Ⓜ○」表示	点灯	消灯
設定音	ピーツ	ピピツ

ドアアラーム

ドアの開放状態が1分以上になると、下表のように音と光でドアが開いていることをお知らせします。
ドアアラーム機能は、冷蔵室、製氷室、冷凍室下段についています。(冷凍室上段、野菜室にはついていません)

ドアの開放時間	1分後	2分後	3分後
アラーム音	ピーツ(3回)	ピーツ(5回)	ピーツ(連続)
操作部の表示	点滅	点滅	点滅

※節電モード設定時のみドア開放時間30秒後にも、ドアアラームが鳴ります。(このとき、操作部の表示は点滅しません)
※ドアアラーム機能により操作部の表示が点滅中は操作部を押しても反応しません。

ドアアラームと操作音の音量調整

ドアアラームと操作音の音を大きめにしたり、音を鳴らないように設定することができます。

1

冷却モード ボタンを設定音が鳴るまで
3秒以上押しつづける



操作音の音量が「標準」「大きめ」「切」に切り替わります。
設定の切り替えを繰り返し、ご希望の音量(下表参照)に切り替えてください。
出荷時は、「標準」に設定しています。

音量	標準	大きめ	切	標準
設定音	—	ピーピーツ	ピーツ	ピピツ

(出荷時)

お知らせ

- ドアアラームと操作音の片方のみを音量調整することはできません。
- 音を鳴らないようにすると、ドアアラーム中の表示部の点滅も行いません。
- 音量を「切」に設定した場合でも「製氷おそうじ」のアラーム音は鳴ります。
- 電源プラグを抜き差ししたり、停電復帰した後は「標準」に戻ります。

温度微調節 (冷蔵室・冷凍室)

冷蔵室と冷凍室の温度設定をさらに細かく11段階に調節することができます。

1 冷凍室下段ドアを開ける

2 **冷蔵** ボタンをピーッと鳴るまで5秒以上押しつづける



3 冷凍室下段ドアを閉める

4 **冷蔵** ボタンまたは **冷凍** ボタンを押して各室を調節する

押すごとに下図のように表示が順番に切り替わります。
通常は「中」の位置でご使用ください。

(弱: 点灯、弱: 点滅、■: 消灯)

表示	弱	弱	中弱	中弱	中弱	中	強中	強中	強中	強	強
設定	さらに弱	弱	→	→	→	中	→	→	→	強	さらに強

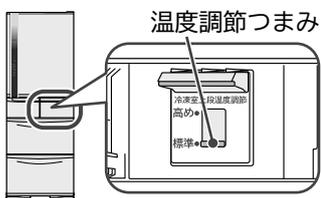
解除 手順1、2、3の操作をする

アラーム音がピピッと鳴り、通常の調節に戻ります。

冷凍室上段の温度調節方法

温度調節つまみを上下にスライドさせることにより、温度を調節することができます。

温度調節つまみは、冷凍室上段の奥側にあります。冷凍室上段ドアをはずしてから行ってください。→ P.25



約-20~-18℃ (出荷時)	約-16~-12℃
温度調節つまみを下げる(標準) <ul style="list-style-type: none"> ● 冷凍食品保存庫として ● 食品をすばやく冷凍したいとき 	温度調節つまみを上げる(高め) <ul style="list-style-type: none"> ● 一時的な食品保存庫として ● 冷凍フルーツをつくるとき
冷凍室上段で「急冷凍」機能を利用できません。 アルミトレイを冷凍室下段の薄物ケース左側に移動して、急冷凍スペースとしてお使いください。	

※周囲温度約30℃で、冷凍室温度調節「中」、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの冷凍室の目安温度です。

お知らせ

- 消費電力量は、冷凍室上段の温度調節つまみを上げて、冷凍室上段温度を約-16~-12℃に設定して測定しています。冷凍室上段の温度調節つまみを下げて、約-20~-18℃に設定した場合、消費電力量が高めになります。

いろいろな機能
〜つづき〜

お手入れ



警告

●お手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

■汚れに気づいたら

●すぐにふき取りましょう。見えない部分も年に一回はお手入れすることをおすすめします。

電源プラグ

年に1、2回

1

電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグについたほこりをそのまま放置すると火災の原因になります。



2

点検する

コードに傷はありませんか？
電源プラグが熱くなっていませんか？
※異常を感じたら、お買い上げの販売店にご相談ください。

3

ホコリなどを取り除き、乾いた布でふく



4

電源プラグをコンセントにしっかり差し込む



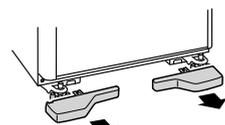
冷蔵庫背面・床

年に1、2回

1

脚カバーを手前に引っ張ってはまず

取り付けの際は、正面から押し込んでください。



2

調節脚を床から浮かせ、冷蔵庫をまっすぐ手前に引き出す

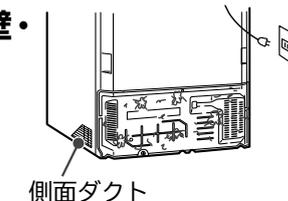
キズの付きやすい床では、保護用の板などを敷いてください。



3

背面・側面ダクト・壁・床の汚れをふき取る

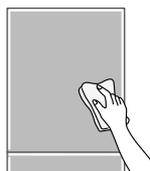
背面は空気の対流により、細かいホコリが付着して汚れやすいところです。



ドア表面

月に1回

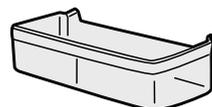
ドア表面はやわらかい布にぬるま湯をふくませて汚れをふき落とし、その後、乾いた布できれいにふき取ってください。ドア表面にテープのりなどが残っているときは、プラスチック消しゴムでこすってから乾いた布でふくと取り除くことができます。



各棚・ポケット・ケース

3か月に1回

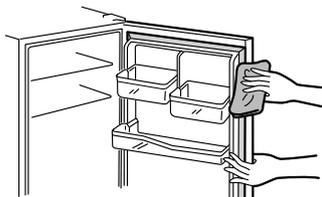
やわらかい布にぬるま湯をふくませてふいてください。
取りはずしかたは [→ P.24,25](#)



ドアパッキング

月に1回

汚れやすいところなので、よくふき取ってください。



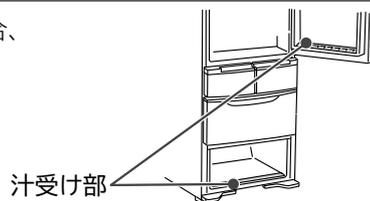
お願い

- ドア、塗装面やプラスチックを傷めたり、変色させたりする場合がありますので、次のものは使わないでください。
アルカリ性、弱アルカリ性の台所用洗剤、磨き粉、粉石けん、石油、熱湯、たわし、酸、ベンジン、シンナー、アルコール、漂白剤など
(洗剤の「家庭用品品質表示法に基づく表示」の「液性」の欄をご確認ください)
- 化学ぞうきんをご使用の際には、その注意書きに従ってください。
- 食用油、かんきつ類の果汁、食品の汁が付いたときは、必ずふき取ってください。付着した部品が変色したり割れたりする場合があります。
- ケース類や引き出しレールの可動接触面には潤滑剤が塗られているのでふき取らないでください。
(潤滑剤は食品衛生法に適合しています)
- マグネットや吸盤を本体側面やドア表面に付けた場合、跡が残る場合があります。
- 電源プラグを抜いた場合、操作パネルの設定が解除される機能がありますので、設定を確認してください。

汁受け部

月に1回

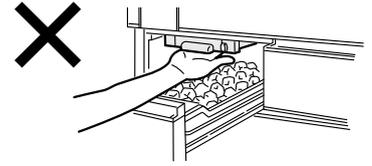
汁が溜まったり汚れた場合、ふき取ってください。





警告

- 自動製氷機の機械部には手を入れない。
(製氷皿が回転したとき、けがをすることがあります)



製氷おそうじ

はじめてお使いのとき

自動製氷機を1週間以上使わなかったとき

製氷皿や水の通り道を水洗いします。

準備

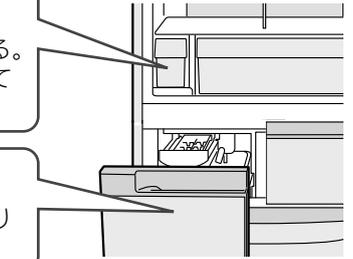
操作の前に、次のことをご確認ください。

給水タンク

- ・満水線まで水が入っている。
- ・タンクセット位置を越えて正しくセットされている。

製氷ケース

- ・氷が残っている場合は取り除いてください。



確認したら、次の操作をしてください。

1 すべてのドアを閉める

2 **製氷** ボタンをアラームが鳴り出すまで5秒以上押しつづける

「急速製氷」「製氷」「製氷停止」の3つの表示が点滅し、アラームが鳴り出したら指をはなしてください。

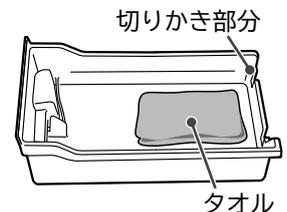
「製氷おそうじ」がスタートします。(約4分間)

- ・約4分間表示が点滅し、アラームが鳴りつづけます。
- ・「製氷おそうじ」は、途中で中止することはできません。
- ・「製氷おそうじ」中に冷蔵庫のいずれかのドアを開けると、正常に動作しない場合があります。終了するまですべてのドアの開閉を行わないでください。
- ・ドアアラームを鳴らないように設定しているときでもアラームは鳴ります。→ P.18



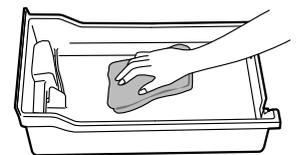
3 アラームと表示点滅が終わったら、製氷ケースの奥にある切りかき部分をふさぐようにして製氷ケースの底にきれいなタオルなどを敷く

製氷おそうじのときにたまった水が、製氷ケース奥の切りかき部分からこぼれるのを防ぐため、吸水用のタオルを敷きます。



4 製氷ケースを取りはずし、ケース内の水をきれいにふき取ったあと製氷室にセットする

水分をふき取ったタオルなどは取り除いてください。
給水タンクに残った水は、そのまま製氷にお使いいただけます。
「製氷おそうじ」終了後は、「製氷」に設定されます。

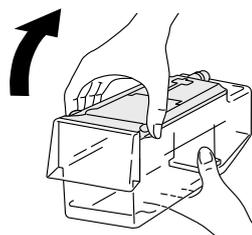


お手入れ〈定期的な点検〉～つづき～

給水タンク 週に1回

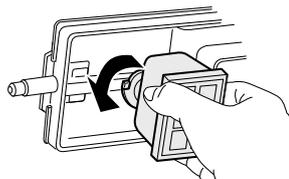
1 給水タンクを取り出し、ふたをはずす

ふたの手前側を矢印の方向へ持ち上げてはずしてください。



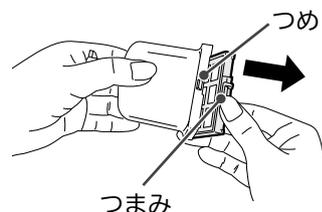
2 ふたからパッキングとケースをはずす

ケースはまわしてふたからはずします。



3 ケースから浄水フィルターをはずす

浄水フィルターをつまみを指で引っ張ってつまめからはずしケースを取りはずします。



4 給水タンクの各部品を水洗いする

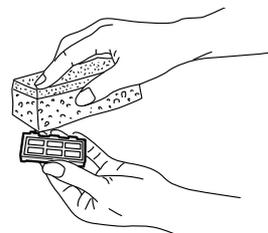
やわらかいスポンジで水洗いしてください。
洗剤などは使わないでください。

お願い

- 浄水フィルターはカビやぬめりの発生を防ぐためよく乾かしてください。

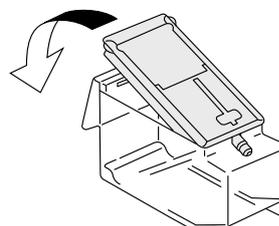
お知らせ

- 浄水フィルター交換の目安は約3～4年です。→ P.31



5 給水タンクの各部品を取り付けてから、水を入れてセットする

ふたの後側から差し込み、矢印の方向へ閉めてください。



お知らせ

- ミネラルウォーター、井戸水、浄水器の水、湯冷ましなど（塩素をふくまない水）は、水道水に比べ水アカ・ぬめりが発生しやすくなりますので、3日に1回お手入れをしてください。
- 自動製氷機を1週間以上使わないときは、給水タンクをよく乾かして所定の位置にセットしてください。（特に浄水フィルターはよく乾かしてください）
また、自動製氷機を1週間以上使わなかったときは、使用開始する前に「製氷おそうじ」をしてください。→ P.21

製氷皿 年に1、2回

1 製氷 ボタンを押して「製氷停止」を点灯させる

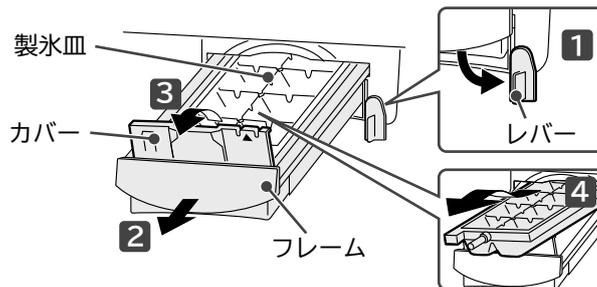
製氷皿への給水を停止します。

※「製氷停止」が点滅したときは、約1分間待って点灯してから、次の操作をしてください。



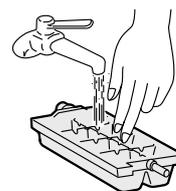
2 製氷室のドアを開け、製氷皿を取り出す

- 1 レバーをおろす
- 2 フレームを引き出す
- 3 カバー(▲部)を手前側に起こす
- 4 フレームから製氷皿を取りはずす



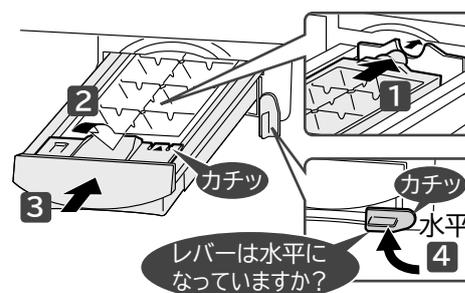
3 製氷皿を空にして、流水で軽く洗い流す

スポンジ・クレンザーなどは使わないでください。
表面を傷付けないでください。



4 製氷室のドアを開け、製氷皿を取りつける

- 1 製氷皿をセットする
- 2 カバーを閉じる
- 3 フレームを水平にして奥まで押し込む
- 4 レバーを上げる
(フレームを前後に動かし、しっかり固定されていることを確認してください)



お知らせ

- 製氷皿の「フレームが奥まで押し込めない」ときは「製氷停止」に設定しなかったため、製氷皿を駆動するモータが動いた可能性があります。一度製氷皿をはずして、フレームのみを押し込み全てのドアを閉じた状態で「製氷」ボタンを押して、「製氷停止」に設定してください。約1分後、製氷皿駆動モータの準備が完了し、取り付けできます。

5 製氷 ボタンを押して「製氷」を点灯させる

自動製氷がスタートします。

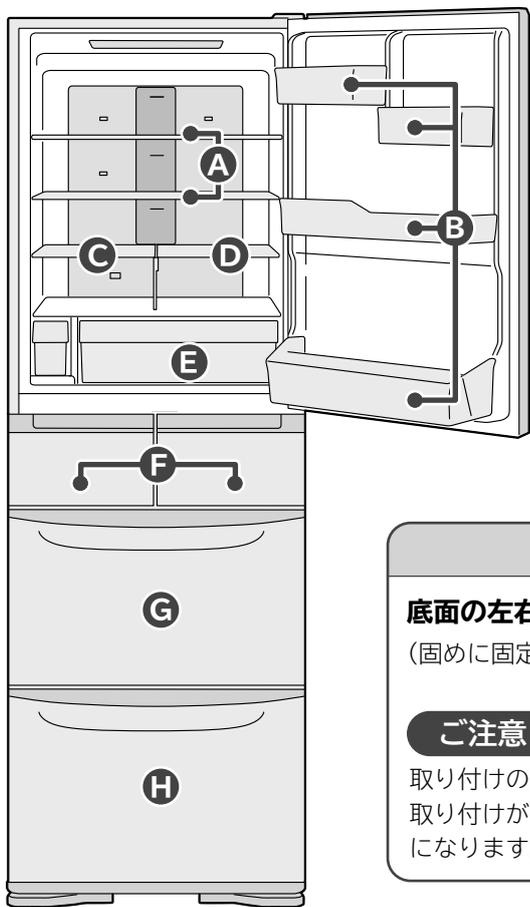
お手入れ ~ つづき ~

部品のはずしかた・取り付けかた

ご注意

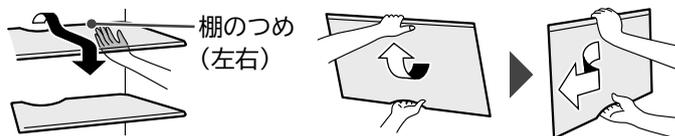
- 部品をはずすときは、部品に載っている食品を取り除いてから行ってください。
- ここで説明している部品以外は、はずさないでください。

説明していない部品をはずして掃除をしたいときなどは、エコーセンターにご相談ください。→ P.32



A 高さかわるん棚上段・中段

- 1 棚の奥を少し持ち上げ、手前に引き出す。
- 2 図のように棚を立てた後に回転させて取りはずす。



取り付けの際は、棚を奥面にあたるまで入れた後に棚の奥を少し持ち上げ押し込んでください。(棚のつめを奥面部品へ引っかける)

お知らせ

棚をまっすぐに引き出すとドアを傷つける場合があります。

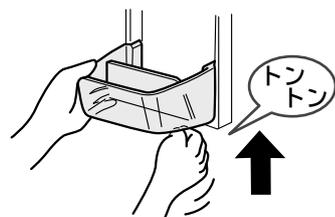
B ドアポケット

底面の左右を軽くたたきながら持ち上げてははずす。

(固めに固定してあります)

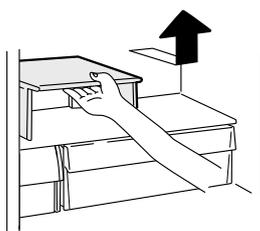
ご注意

取り付けの際は、最後までしっかり入れてください。
取り付けが不十分だとはずれて落下し、けがの原因になります。



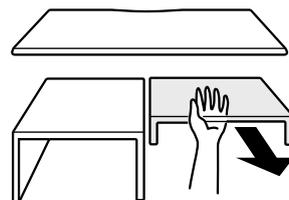
C 固定棚

手前に引き出して右下のつめ2か所をはずして取りはずす。



D 高さかわるん棚下段

少し持ち上げてははずす。



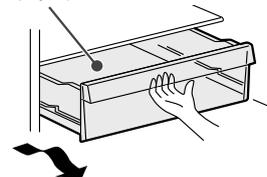
お知らせ

棚をまっすぐに引き出すとドアを傷つける場合があります。

E 氷温ルーム

ケースをいっぱい引き出し、手前を少し持ち上げて取り出す。

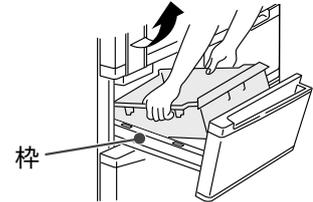
スライドケース



F 製氷ケース（製氷室）・上段フリーザーケース（冷凍室上段）

ドアを開け、ケースを手前に持ち上げる。

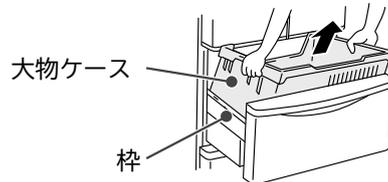
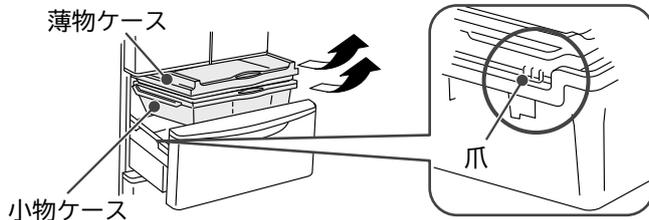
取り付けの際は、ケース底面を枠に載せてセットしてください。



G 薄物ケース・小物ケース・大物ケース（冷凍室下段）

1 ドアを開け、薄物ケース・小物ケースをそれぞれ引き出す。

2 大物ケースを手前に持ち上げる。



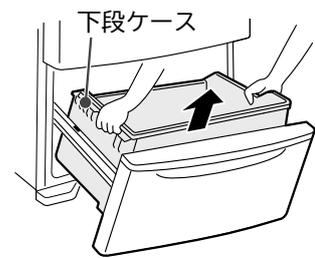
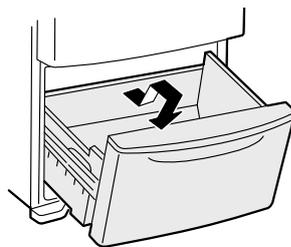
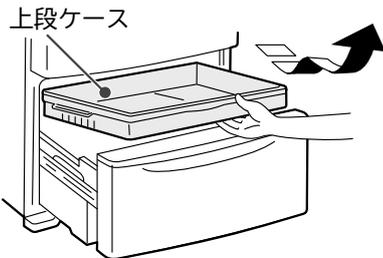
取り付けの際は、大物ケースの左右の突起を、枠の角穴に入れてセットしてください。また、小物ケース左右のつめを大物ケースの外側にセットしてください。

H 上段ケース・下段ケース（野菜室）

1 ドアを手前いっぱい開け、図のように上段ケースを引き上げる。

2 ドアの手前を持ち上げ、さらにゆっくりと引き出し、ドアを傾ける。

3 下段ケースを手前に持ち上げる。

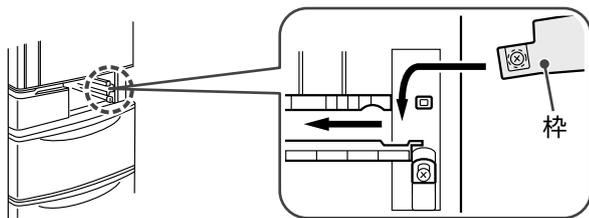


3で下段ケースがはずせない場合は、ドアをはずしてから下段ケースをはずしてください。

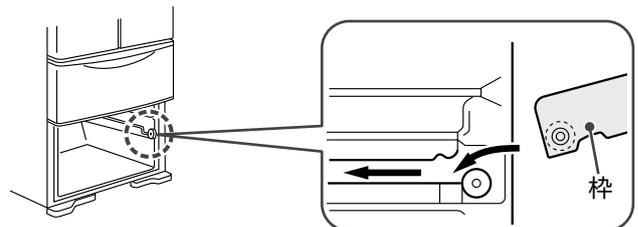
取り付けの際は、下段ケース左右奥側の突起を枠の角穴に入れ、下段ケースのふちを枠の上に乗せるようにセットしてください。

引き出しドアのはずしかた・取り付けかた（製氷室・冷凍室上段・冷凍室下段・野菜室）

製氷室・冷凍室上段



冷凍室下段・野菜室



お困りのときは

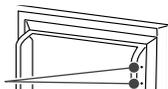
修理を依頼される前に、次の点をもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、お買い上げの販売店か弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

こんなときは		ここを確認してください	こうしてください。こういう理由です。
使いはじめ	よく冷えない	設置後、24時間以内ではありませんか？	設置直後は、冷えるのに24時間以上かかることがあります。食品はすき間をあけて収納し、開閉回数をできるだけ少なくしてお待ちください。なお、夏場や食品が多い場合は、冷えるまでに時間がかかります。
	製氷できない	設置後、24時間以内ではありませんか？	設置直後は、冷蔵庫全体が冷えていないため、最初の氷ができるまで24時間以上かかることがあります。食品はすき間をあけて収納し、開閉回数をできるだけ少なくしてお待ちください。
操作部	操作部が反応しない	表示部に  が点灯していませんか？ 操作部ロックの設定になっています。	操作部ロックの設定を解除してください。→ P.18
		冷蔵庫ドアを開けていませんか？	閉めてから操作してください。
自動製氷	氷がまったくできない	表示部に「製氷停止」が点灯していませんか？ 製氷停止に設定されています。	「製氷」または「急速製氷」に設定してください。 → P.12,13
		表示部に「給水」が点灯していませんか？ 給水タンクの内の水が少なくなっています。	給水タンクに水を入れてください。 → P.12,13
		給水タンクの水が少なくなっていますか？	水の残りが少なくなると氷ができないことがあります。 給水タンクの満水線まで水を入れてください。 → P.12
		給水タンクが「タンクセット位置」の線を越えるまで奥にしっかりと押し込まれていますか？	給水タンクを「タンクセット位置」を越えるまで奥に押し込んでください。→ P.12
		フレームを水平にして奥に押し込んでいますか？	フレームを水平にして奥に押し込んでください。 → P.23
		製氷ケースに氷以外のものが収納されていませんか？	製氷ケースから取り除いてください。
		氷が部分的に最大貯氷目安線を越えてたまっていませんか？	氷をならしてください。→ P.13
自動製氷	氷がなかなかできない	ドアを頻繁に開ける、大量の食品を一度に収納するなどしていませんか？	庫内が十分に冷えていません。 庫内が冷えるまでできるだけドアの開け閉めを少なくしてください。収納している食品同士の間隔をできるだけあけてください。
		冷蔵庫の周囲の温度が低くなっていませんか？	冬場は、氷ができるまで4時間以上かかることがあります。ドアの開閉回数をできるだけ少なくしてお待ちください。
		「製氷停止」の設定から「製氷」の設定に変更した直後ではありませんか？	設定を変更した直後は時間がかかることがあります。ドアの開閉回数をできるだけ少なくしてお待ちください。
		食品や袋がはさまり、冷凍室や製氷室が半ドアになっていませんか？	はさまっている食品は取り除き、きちんとドアを閉めてください。
		節電モードになっていませんか？	節電モードを解除してください。→ P.17
自動製氷	氷に突起ができる	――	製氷皿の溝部分にたまった水が凍ったものです。異常ではありません。
自動製氷	貯めた氷が丸くなる 氷同士がくっつく	古い氷をためたままにしていますか？	古い氷は自然に小さくなったりくっついたりします。
		ドアを頻繁に開ける、大量の食品を一度に収納するなどしていませんか？	ドアの開閉を手早くしたり、開閉回数をできるだけ少なくしてください。
		一時的に冷蔵庫ドアや引き出しドアが半ドアになっていませんか？	ドアを閉めるときは、きちんと最後まで閉めてください。
自動製氷	できあがった氷が小さい	給水タンクの水が少なくなっていますか？	水の残りが少なくなると、小さな氷ができることがあります。 給水タンクの満水線まで水を入れてください。 → P.12

	こんなときは	ここを確認してください	こうしてください。こういう理由です。
自動製氷	できあがった氷がはじめからくっついている	フレームを水平にして奥に押し込んでいますか？	フレームを水平にして奥に押し込んでください。 → P.23
		製氷皿に傷がついていませんか？	製氷皿に傷がつくと、製氷皿から氷がはがれにくくなり、割れた氷やくっついた氷ができることがあります。販売店にご相談の上、製氷皿を交換してください。
	氷に白いにごりがある	ミネラルウォーターで氷をつくっていませんか？	水の中に溶け込んでいた空気の細かい泡が氷の中に閉じこめられたためです。 水にふくまれるミネラル分が凍って白くにごることがありますが、害はありません。
	製氷皿のフレームが引き出せない	設定を「製氷停止」にしていますか？	自動製氷機が作動している間は引き出せません。「製氷停止」に設定してください。「製氷停止」表示が点滅したときは、約1分間待って表示が点灯してから引き出してください。 → P.23
氷をつくらないときは		「製氷停止」に設定してください。 「氷をつくらない(製氷停止)」をご覧ください。→ P.13	
冷えない	冷えないアイスクリームがやわらかい	食品や袋がはさまり、半ドアになっていませんか？	はさまっている食品を取り除き、きちんとドアを閉めてください。なお、収納するときは、食品の高さに注意してください。
		食品を無理に詰めたり、大量の食品を一度に入れていませんか？	食品はすき間をあけて収納してください。
		各室のケースはきちんと取り付けられていますか？	きちんと取り付けてください。→ P.25
		冷蔵庫を設置した場所やすき間、周りの状況などによって冷えない場合があります。	正しく設置されているかご確認ください。→ P.8
		節電モードになっていませんか？	節電モードを解除してください。→ P.17
		温調設定が「弱」になっていませんか？	よく冷えない部屋の温度設定を「中」または「強」に変更してください。→ P.11,15
		夏場など、冷蔵庫の周囲の温度が高くなっていませんか？	よく冷えない部屋の温度設定を「強」に変更してください。→ P.11,15
霜や露がしこ	庫内や引き出しの枠に霜や露、氷がつく	一時的に冷蔵室ドアや引き出しドアが半ドアになっていませんか？	引き出しやドアを閉める際は食品や袋がはさまっていないかを確認し、きちんと閉めてください。
			ドアを開閉したときに、空気中にふくまれる水分が、霜や氷となって、冷凍室の壁面や部品につくことがあります。ドアの開閉を手早くしたり、開閉回数を出来るだけ少なくしてください。霜や露は乾いた布でふき取ってください。
	冷蔵庫の外側に露がつく	冷蔵庫の周囲の湿度が高くなっていませんか？	雨の日など湿度が高いときは、露がつくことがあります。露は乾いた布でふき取ってください。
		温度設定が「強」になっていませんか？	温度設定が「強」のときはドア表面に露がつくことがあります。温度設定を「中」にしてください。露は乾いた布でふき取ってください。
	冷蔵室の中が結露する	ドアを長い間、開けていたり、頻繁にドアの開閉をしていませんか？	ドアの開け閉めの回数が多いときや、冷蔵庫の周囲の湿度が高いときは壁などが曇ったり、冷気吹き出し口のまわりに露がつくことがあります。故障ではありません。乾いた布でふき取ってください。  結露
野菜室の中が結露する	水分の多い野菜を大量に収納していませんか？	野菜室はほかの部屋に比べて、湿度が高くなっているため、野菜の量や種類によって野菜室のケースや天井、食品表面に結露することがあります。異常ではありません。結露が気になる時は、ラップをかけて収納することをお勧めします。また、結露が多くなると、野菜室のケースに水がたまる場合があります。たまった水はやわらかい布でふき取ってください。	
冷え過ぎる	凍ってしまう	温度設定が「強」になっていませんか？	「中」にしてください。→ P.11,15
		周囲温度が5℃以下ではありませんか？	周囲温度が低いときは庫内が冷え過ぎることがあります。温度設定を「弱」にしてください。
		冷気吹き出し口の手前に置いていませんか？	冷気吹き出し口の手前には置かないでください。

お困りのときは ~つづき~

	こんなときは	ここを確認してください	こうしてください。こういう理由です。
表示部が点滅つづける(「E」表示など)	点滅	何回続けて点滅していますか？ どんなパターンで点滅していますか？	異常があることをお知らせしています。 お買い上げ販売店にご相談ください。
	製氷 点滅	製氷室に自動製氷機でつくった氷以外の食品や氷を入れていませんか？	製氷皿に、食品などがあたっている可能性があります。製氷室を空にして「製氷おそうじ」を実施してください。→ P.21
	急速製氷 製氷停止 製氷 すべて点滅	「製氷」を5秒以上押しませんでしたか？	製氷おそうじを行っています。 約4分間で点滅が収まります。点滅中は冷蔵庫のどのドアも開けないでください。
	製氷停止 点滅	「製氷停止」に設定した直後ではないですか？	自動製氷機が動いています 約1分間で点滅が収まります。点滅中は製氷室のフレームを取り出すことはできません。
	すべての表示が点滅	ドアが開いていませんか？ ドアに食品などが挟まって半ドアになっていませんか？	ドアが開いている場合は、閉めてください。 食品などが挟まって半ドアになっている場合は、取り除いてしっかりと閉めてください。
	上記以外の点滅	——	お買い上げ販売店にご相談ください。
音が気になる	ドアを閉めるとほかのドアが開く	ドアを勢いよく、閉めませんでしたか？	各室は冷氣通路でつながっているため、ドアを閉める風圧で他のドアが一瞬開くことがあります。
	冷蔵庫から聞こえる音がうるさい	床がたわんでいませんか？	丈夫な板を敷いてからその上に設置してください。 → P.8
		冷蔵庫が壁や家具などに当たっていませんか？	冷蔵庫の周りにすき間をあけて設置してください。
		冷蔵庫は冷えていますか？	ご購入後、使いはじめなど冷蔵庫が冷えていないときや、ドアの開け閉めが多いとき、周囲の温度が高いときはコンプレッサーが高速運転をするため、音が大きく感じることがあります。
		「急冷凍」「急冷蔵」「急速製氷」に設定していませんか？	設定が「急冷凍」「急冷蔵」「急速製氷」になっているときは、コンプレッサーやファンモーターが高速運転をするため、音が大きくなります。
	運転音が高い	——	コンプレッサーをゆっくり運転させて、省エネ運転をしているため、運転音が長く感じることがあります。
	ときどき音が大きくなる	——	庫内の温度変化に合わせて運転する力を変更しているため、ときどき音が大きく感じることがあります。
	その他 このような音が聞こえたときは	水の流れるような音(チョロチョロ) 衝突するような音(コツコツ) 沸騰するような音(ポコポコ) 肉を焼くような音(ジュー)	
きしむような音(ピシッ) (コトン)			冷蔵庫の温度が変化するときの部品がきしむ音です。 異常ではありません。
何か引っかかるような音(コトコト) うるような音(プー) ドアを閉めた直後の音(ブーン)			庫内の温度を制御する電気部品が作動する音です。 異常ではありません。
自動製氷機の音 (ギューーン) (ガラガラ) (ゴボゴボ)			自動製氷機の製氷皿から氷がはなれるときや製氷皿に水を入れるときの音です。異常ではありません。 製氷 ボタンを押して「製氷停止」にすると、音がでなくなります。→ P.13
ときどきする音(カタカタ)			庫内を冷やすための運転をはじめるときの音です。 異常ではありません。

	こんなときは	ここを確認してください	こうしてください。こういう理由です。
ドアの傾きが気になる	ドアが傾いている	設置場所は水平ですか？	性能上問題なくそのままお使いいただけますが、気になるときは、左右の調節脚で調整してください。(→ P.8)
		床材がやわらかく、収納物の重みが変わり脚が沈んでいませんか？	冷蔵庫本体が傾く場合は、厚さ 1cm 以上の丈夫な板を敷いてください。
	ドアを閉めた直後開けようとすると重い	ドアを長い間、開けていませんか？	庫内に入った空気が急に冷やされて、圧力が一時的に低くなるためです。ドアは長時間、開けたままにせず、こまめに開閉してください。
冷蔵庫が熱くなる	冷蔵庫の側面が熱くなる 足元から暖かい風が出る	—	冷却装置が運転するときに発生する熱を外に逃がすために熱くなることがあります。設置直後や夏場は 50~60℃ になることもあります。安全および性能上問題はありますが、手をふれないでください。
においが気になる	プラスチックのにおいがする	—	庫内にプラスチック部品を多く使用しているためですが、十分に冷えるにしたがってにおいは徐々に少なくなります。異常ではありません。
	氷がにおう	給水タンク、浄水フィルターが汚れたり、氷が古くなっていませんか？	「ぬめり」「水アカ」防止のため、定期的に水洗いしてください。(→ P.22)
		—	水道水中の塩素分が凝縮されるため、塩素が強におうことがあります。
庫内がにおう	においの強い食品をそのまま収納していませんか？	脱臭機能はすべてのにおいを完全に取り除くことはできません。ラップをかけるなど密封して収納してください。	
その他	本体に触れるとわずかに電気を感ずる	—	冷蔵庫が静電気を帯びる場合がありますが、安全上問題はありません。気になる場合はアースの取り付けをおすすめします。(→ P.9)
	テレビ・ラジオなどに雑音、映像の乱れが生じる	—	この冷蔵庫からごくわずかに発生する電磁波のためです。テレビ・ラジオ・インターフォンなどからはなして設置してください。電源はアンテナ線などからはなれたところからとり、アースの取り付けをおすすめします。(→ P.9)
	プラスチック部品に傷のような細かい線がある	—	プラスチックを成形する際に発生する樹脂の流れの跡です。透明な部品について特に目立ちやすくなっていますが、強度上の問題はなく割れに至ることはありません。
	ドア面や側面・天面に波打ちや歪みがある	—	冷蔵庫の製造工程上、波打ちや歪みが生じます。光源の位置や明るさなどによっては目立つことがあります。異常ではありません。また、性能上は問題ありません。
	ドア内側に小さな穴が開いている	—	この穴は冷蔵庫の製造工程にて断熱材を充填する際に内部の空気を逃がすための穴です。傷や異常ではありません。  穴(ドア内側)
	冷蔵室側面にシールが貼ってある	製品によっては、冷蔵庫の製造工程にて断熱材を充填する際に内部の空気を逃がす穴が冷蔵室側面にあるため、穴を目立たなくするためにシールを貼っています。 	シールは剥がさずにご使用ください。
	停電した	—	復旧するまでの間はドアの開閉を減らし、新たな食品の収納はさけてください。停電復旧した後は、操作部の設定をご確認ください。
	冷蔵庫を長期間使わない	—	庫内のものをすべて出してください。電源プラグを抜いて庫内や自動製氷機のお手入れをしてください。(→ P.20~23) 2~3日間すべてのドアを開けて乾燥させてください。
霜取りをする	—	この冷蔵庫は自動で霜取りをしますので、操作は必要ありません。解けた水は蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。	
冷蔵庫を移動・運搬する	—	「移動・運搬の準備(引っ越しをする)」をご覧ください。(→ P.9)	

仕様

型式	R-K42F・R-K42FL		
種類	冷凍冷蔵庫		
定格内容積	全定格内容積	401L	
	冷蔵室	214L〈172L〉	
	うち氷温ルーム	〈 14L〉	
	製氷室(フォースター)	18L〈 5L〉	
	冷凍室上段(ツースター)	19L〈 9L〉	
	冷凍室下段(フォースター)	75L〈 51L〉	
外形寸法	野菜室	75L〈 52L〉	
	幅	600mm	
	奥行	669mm	
高さ	1,798mm		
定格電圧	交流100V		
定格周波数	50 / 60Hz 共用		
電動機の定格消費電力	82W		
電熱装置の定格消費電力	144W		
年間消費電力量	冷蔵室ドア内側の品質表示ラベルに表示してあります。		
質量	80kg		

※〈 〉は、食品収納スペースの目安です。

- 定格内容積は、日本工業規格(JIS C9801-3:2015)に基づき、庫内の温度制御に必要でない庫内部品(棚やケース等)をはずした状態で算出したものです。
- 食品収納スペースの目安は、日本工業規格(JIS C9801-3:2015)に基づき、庫内部品を取り付けた状態で算出したものです。
- 貯蔵室ごと(例えば、冷蔵室、冷凍室、野菜室等)に、定格内容積と併せ食品収納スペース(貯蔵室ごとの実際に食品を収納することができる空間の容積)の目安を表示しています。
- 冷蔵室の食品収納スペースの目安には氷温ルームの数値を含みます。
- ()内は、消費電力量試験での各室の目標温度の区分を示しています。目標温度の区分は日本工業規格(JIS C 9801-1:2015 および9801-3:2015)に定められています。
- この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。またアフターサービスもできません。

消費電力量について

- 年間消費電力量は、JIS C 9801-3:2015で決められた測定方法と計算方法において得られた値を表示しております。
- 使用時の消費電力量は、設置の仕方、各庫内の温度設定、周囲温度や湿度、ドア開閉頻度、新しく入れる食品の量や温度、使い方等により変動する場合があります。

年間消費電力量測定方法の概要

JIS C 9801-3:2015 消費電力量測定方法				
種類	冷凍冷蔵庫			
	「スリースター」「フォースター」機種		冷蔵室	冷凍室
庫内温度	冷凍室	冷蔵室	冷蔵室	冷凍室
	-18℃以下	4℃以下	4℃以下	-18℃以下
周囲温度	32℃及び16℃			
周囲湿度	32℃測定時:70±5% 16℃測定時:55±5%			
消費電力量の表示	年間消費電力量(kWh/年) (周囲温度32℃測定による1日当りの消費電力量205日分と周囲温度16℃測定による1日当りの消費電力量160日分の合計)			

冷凍室の性能

この冷凍冷蔵庫の冷凍室下段の性能は **※*****(フォースター)です。冷凍室上段の性能は **※※**(ツースター)です。冷凍室の性能は、日本工業規格(JIS C9607)に定められた方法で試験したときの、冷凍負荷温度(食品温度)によって表示しています。

記号	※*** フォースター	※※ ツースター
冷凍負荷温度(食品温度)	-18℃以下	-12℃以下
市販冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3カ月	約1カ月

■ 市販冷凍食品の貯蔵期間

冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類・店頭での貯蔵状態・冷蔵庫の使用条件などによって異なりますので、一応の目安としてご覧ください。

収納できる食品の重さ

部 品 名		R-K42F・R-K42FL
冷蔵室	高さかわるん棚上段	13.5kg
	高さかわるん棚中段	13.5kg
	高さかわるん棚下段・固定棚	13.5kg
	氷温ルーム上の棚	7.5kg
	氷温ルーム	5.5kg
	ドアポケット合計	21.5kg
製氷室	製氷ケース(自動製氷機でつくった氷以外は入れないでください(→P.13))	
冷凍室上段	上段フリーザーケース	3.0kg
冷凍室下段	薄物ケース	3.5kg
	小物ケース	4.5kg
	大物ケース	11.5kg
野菜室	上段ケース	4.0kg
	下段ケース	13.0kg

別売部品

■次の部品を購入する場合は、必ず販売店にお使いの冷蔵庫の型式をご指定のうえ、専用の部品をお買い求めになっください。

こんなときに	商品名	型式	商品型式	希望小売価格
氷がおうとき ●浄水フィルターが古く汚れている恐れがあります。 (使用期間の目安は約3~4年です)	自動製氷用浄水フィルター	全機種共通	RJK-30 	1,500円(税別)
万一の感電防止のために	アース線(長さ 2.5m)	全機種共通	NW-60R6 052 	300円(税別)
地震に備えて	冷蔵庫用地震転倒防止ベルト ※2セット必要となります。	全機種共通	R-826CV 300 	870円(税別)
ドアの段差や傾きが 気になるとき	調整キット (専用工具およびクッション2個付)	全機種共通	R-A6200 650 	1,000円(税別)
	調整板(3枚付き)	全機種共通	R-Y6000 500 	1,000円(税別)

●上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

保証とアフターサービス 保証書(別添)

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用および車両(車載用を除く)、船舶への搭載》に使用された場合の故障および損傷。
- なお、食品の補償等、商品修理以外の責はご容赦ください。

保証期間：お買い上げの日から1年間です。(ただし、冷凍サイクル・冷却器用ファンおよび冷却器用ファンモーターは、5年間です)

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

冷蔵庫の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは(出張修理)

26~29ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申し付けいただくときは、下のことをお知らせください。

品名	日立冷凍冷蔵庫
型式	R-K42F・R-K42FL (冷蔵庫ドア内側の銘板に記載されている型式をお知らせください。)
お買い上げ日	
故障の状況	できるだけ詳しく
ご住所	付近の目印等もお知らせください。
お名前	
電話番号	() -
訪問希望日	

※型式は保証書にも記載されています。

■保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00~19:00(月~土)・9:00~17:30(日・祝日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11

FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00~17:30(月~土)・9:00~17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

出張修理のご用命はインターネットからもお申込みいただけます。

URL <http://kadenfan.hitachi.co.jp/afterservice/toiawase.html> または

「お問い合わせ」ページの ボタンより入力画面にお進みください。

(注) 対象製品をご確認のうえお申込みください。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。



この J-Moss グリーンマークは、特定の化学物質(鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB(ポリブロモビフェニル)・PBDE(ポリブロモジフェニルエーテル))の含有率が JIS C 0950:2008 による基準値以下であることを示しています。(規定の除外項目を除く)

詳しい情報は、当社のホームページでご覧いただけます。 <http://www.hitachi-ap.co.jp/company/environment/kankyo/jmoss/>

愛情点検



長年ご使用の冷蔵庫の点検を！

こんな症状
はありませんか？

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深い傷や変形がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 冷蔵庫床面にいつも水がたまっている。
- ピリピリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫または冷凍庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入してください。
サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入年月日 年 月 日 型式

購入店名 電話 ()

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋 2-15-12 電話 (03) 3502-2111